

2022年度事業計画書

2022年4月1日から
2023年3月31日まで

2022年度において、次のとおり事業を実施します。

1. 公益目的事業

(1) 研修会および懸賞論文等に関する事業

①国内研修会

- ・海外の保険監督官庁や保険会社などの役職員を対象として、別紙（次頁）に掲げる内容で研修会を開催

②海外研修会等

- ・モンゴルもしくはインドネシアにて、保険監督官庁や保険会社などの役職員を対象として、研修会を開催
- ・その他研修準備等のため、海外出張を実施

③懸賞論文及びセミナー等保険リテラシー向上のための取組

- ・開発途上にある国や地域から日本への留学生を対象とした懸賞論文を実施
- ・フィリピンにおいて主に高校生を対象とした保険リテラシー向上のための作文コンテストの実施
- ・その他保険リテラシー向上のための取組の検討

(2) 情報提供に関する事業

①情報提供等

- ・財団の事業活動等に関する情報を、インターネットを通じて提供
- ・メールマガジンやホームページを使った保険リテラシー向上を促す情報発信

2. 法人（管理部門）

総務・会計・企画業務の特記事項として次の業務を実施

- ・公益財団法人としての適切な運営
- ・IT基盤の整備、情報管理体制の強化
- ・ガバナンス向上に資する社会への当財団事業の理解促進
- ・ソーシャルボンド投資等、SDGs達成への取組み

以上

2022年度 公益事業内容

① 国内研修会

| 区分 | 対象 | 研修会名 | テーマ | フォーカス | 研修期間 | 日数 | 招致人員 |
|-------|-------|----------------|---------------------------------|---|--------------------|-----|------|
| 国内研修会 | 管理職 | リスク管理コース | 生命保険会社におけるリスク管理 | 全社的リスク管理における最新の取組とベストプラクティスの共有化 | 7月6日(水)～7月12日(火) | 7日間 | 約25名 |
| | | 個人保険におけるDXコース | 生命保険におけるDXの潮流 | 生命保険におけるDXの潮流と今後の可能性について、開発担当や有識者の知見を手掛かりに状況を俯瞰する | 9月7日(水)～9月13日(火) | 7日間 | 約25名 |
| | 経営管理職 | トップマネジメントコース | コロナ禍に対する保険業界の対応と保険会社経営における最近の潮流 | | 11月8日(火)～11月11日(金) | 4日間 | 約30名 |
| 個別研修会 | | カンボジア保険行政担当者研修 | 個別の要望に応じて決定 | | 11月下旬～12月初旬 | 5日間 | 約10名 |

② 海外研修会

| 区分 | 内容 | 実施時期 |
|-------|------------------------|-----------|
| 海外研修会 | モンゴルもしくはインドネシアにて研修会を開催 | 開催国の意向を考慮 |

③ 懸賞論文及びセミナー等保険リテラシー向上のための取組

| 区分 | 内容 | 実施時期 |
|-----------|---|--|
| 国内留学生懸賞論文 | 開発途上にある国や地域から日本への留学生を対象とした懸賞論文を実施 | 4月募集開始 9月応募締切 11月論文選考 1月表彰式 |
| フィリピン | フィリピンにおいて主に高校生を対象とした保険リテラシー向上のための作文コンテストを実施 | 11月募集開始 } (フィリピン 1月応募締切 } 生保協会) 2月選考 } 4月表彰式(於フィリピン) 5月日本招致研修(FALIA) |